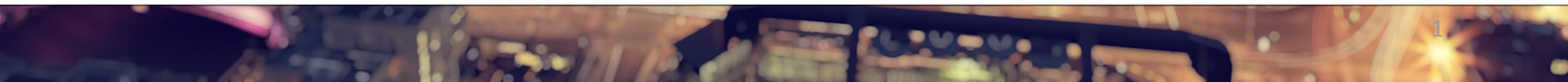




GDPR及び派生課題に関する報告

26 APRIL 2018



2018年5月25日

個人情報（データ）の保護という基本的人権の確保を目的とした「EU 一般データ保護規則（General Data Protection Regulation : GDPR）」

2018年5月25日に適用されます



GDPRは、EUを含む欧州経済領域（EEA）域内で取得した「氏名」や「メールアドレス」「クレジットカード番号」などの個人データを EEA 域外に移転することを原則禁止しており、現地進出の日系企業に勤務する現地採用従業員や、日本から派遣されている駐在員も含まれるため注意が必要とされます。行政罰規定があり、違反行為に対しては、高額の制裁金が課されるリスクもあります。

出典：JETRO <https://www.jetro.go.jp/world/europe/eu/gdpr/>

GDPR に違反した場合の制裁 – 巨額の制裁金

GDPR違反の場合の制裁金の上限額には、次の2とおりの種類がある※。

- 1,000万ユーロ、または、企業の場合には前会計年度の全世界年間売上高の2%のいずれか高い方
- 2,000万ユーロ、または、企業の場合には前会計年度の全世界年間売上高の4%のいずれか高い方



※なお、GDPR 違反の場合の監督機関による執行としては、行政制裁金の賦課のみならず、開示や監査といった調査、作為または不作為に関する遵守命令、処理の禁止、データ主体に周知させる命令、認証の撤回、および警告があり、常に行政制裁金が課せられるわけではない。

出典：「EU 一般データ保護規則（GDPR）」に関わる実務ハンドブック（入門編）

GDPRとドメインはどのような関係があるのでしょうか？

GDPRによる制限

欧州経済圏（EEA）の市民の個人データの

- 収集（collection）
- 保管（storage）そして
- 公開（publication）

が制限されます。

WHOIS情報

WHOISとは、ドメインネームの登録情報データです。つまり、WHOISの詳細は、GDPRで制限されている

- 収集（collection）
- 保管（storage）
- 公開（publication）

と矛盾する状況にあります。

では、今何が起きているのでしょうか？

ICANNは、EUのArticle 29 Working Party (第29条作業部会)に要求をしています。

- 暫定モデルがGDPRに適合するのかの確認
- レジストリ・レジストラに対して、2018年末までGDPRの一時停止

第29条作業部会とは

EU指令（95/46/EC）に基づき設置された個人データの取り扱いにかかる個人の保護に関する作業部会のことで、EU加盟各国の監督当局の代表、欧州委員会司法総局データ保護課の代表、欧州データ保護監察機関（EDPS）の代表によって構成される。助言機関としての役割を持っており、独立性が保証されている。特定の問題に関して共通の解釈と分析を提供することにより、EU加盟国のデータ保護法の解釈にある程度の調和をもたらす。

出典：JETRO <https://www.jetro.go.jp/world/europe/eu/gdpr/>



2018年3月上旬、ICANNはWHOIS Interim Model（暫定モデル）を発表しました。

Interim Model for Compliance with ICANN Agreements and Policies in Relation to the European Union's General Data Protection Regulation

– WORKING DRAFT FOR CONTINUED DISCUSSION

出典：<https://www.icann.org/en/system/files/files/gdpr-compliance-interim-model-08mar18-en.pdf>

暫定モデルとは、WHOISを一定の制限下で公開するものです。

ICANN暫定モデルのキーファクター

レジストリ・レジストラ共に、WHOISのフルデータの収集を継続

公開WHOIS（Public WHOIS）上で**一部情報をマスキング**

- | | |
|-------------------|----------------------|
| • 登録者（Registrant） | 氏名、郵便番号、住所、電話番号、Eメール |
| • アドミン（Admin） | 全ての情報 |
| • 技術（Tech） | 全ての情報 |

WHOIS情報アクセス権承認制度



WHOIS Data Fields	ICANN Interim Compliance Model Legal and Natural persons
Domain Name	Display
Registry Domain ID	Display
Registrar WHOIS Server	Display
Registrar URL	Display
Updated Date	Display
Creation Date	Display
Registry Expiry Data	Display
Registrar Registration Expiration Date	Display
Registrar	Display
Registrar IANA ID	Display
Registrar Abuse Contact Email	Display
Registrar Abuse Contact Phone	Display
Reseller	Display
Domain Status	Display
Domain Status	Display
Domain Status	Display
Registry Registrant ID	Do not display
Registrant Name	Do not display
Registrant Organization	Display
Registrant Street	Do not display
Registrant City	Do not display
Registrant State/Province	Display
Registrant Postal Code	Do not display
Registrant Country	Display
Registrant Phone	Do not display
Registrant Phone Ext	Do not display
Registrant Fax	Do not display
Registrant Fax Ext	Do not display
Registrant Email	Anonymized email or web form.
Registry Admin ID	Do not display



暫定モデルでは、WHOISのフルデータへのアクセスを可能とする承認制度を採用すると言っています。

以下が承認を受けられる人として提案されています。

- 商標権侵害対応を行う知的財産のプロ
- スпамやマルウェア対応を行うセキュリティ関連
- 法的機関

ただし、ICANNのプランには「承認を受ける方法」が記載されていません。

ICANNのプランをスピードアップするためには？

- WHOISへのアクセスが出来る人の明確化
- 法に則ったデータアクセス
- 承認を受けるための条件
- オペレーションモデル
- 承認期間

第29条作業部会の回答は、以下のような内容でした。

- WHOISデータにアクセスするための合法的な目的の詳細を説明すること
- 第三者の利益ではなく、ICANNのミッションに関連するものとする
- WHOIS全データへのアクセスは、特定の目的に関連して行うべきであり、承認を受けたものでも完全に自由なアクセスを与えるべきではない
- WHOISデータへの承認アクセスには厳しいセキュリティを実装し、アクセスを識別できるようにする
- CPHによるWHOISデータの保管期間を2年間とするべき提案は、妥当であるのか理由が必要である

つまり、現時点ではICANNが提案した暫定モデルを承認できないと言う事です

今後の想定：

2018年5月25日までに第29条作業部会がICANNの暫定モデルを承認するのは困難

ICANNによる「暫定モデルがGDPRに適合している」という保証がない



レジストリ・レジストラは独自の判断でGDPRに適合する方法を考え実装

多くのレジストリ・レジストラは、WHOIS情報をマスキングすると思われる

- EUのいくつかのccTLDの対応をコピーするケースが出てくるとと思われる
- WHOISが断片的となり、正確な情報を取ることが困難になるとと思われる

法人としてどのような対応が求められるのでしょうか？

商標権者としての対応

WHOISにアクセスする立場と考えた場合

- WHOIS情報は制限
- 登録者の特定と連絡が困難

想定影響範囲

- 侵害ドメインの登録者が分からなくなる
- 個人の侵害者による侵害のパターンが分からなくなる
- ドメイン移管時の登録者・アドミンの特定が困難

つまり、UDRPやURSに影響がでると考えられます。

UDRPやURSのプロバイダーも、案件発生時に登録者への連絡が困難になると考えられます。

その他、ドメイン購入を検討している際、登録者の連絡先が分からなくなることや、自社ドメインの監査への影響が出ると考えられます。

独自ドメイン（Dot Brand）オペレーターとしての対応

レジストリオペレータとしての対応

- WHOIS情報をコントロールする立場にある
- 日本企業がレジストリオペレータである場合GDPRに準拠する必要はない
- WHOISにEEAの個人情報が含まれていないか確認が必要

弊社からのお願い

- WHOISは、会社の情報で登録する事をお勧めします
- 貴社法務部門と再度確認をしてください

次世代登録ディレトリサービス(RDS)作業部会 (The Registration Data Service Policy Development Process Working Group)が2018年4月に活動を停止

RDS PDPでは、gTLD登録データの収集、保守、アクセス提供に関する目的を定義し、データ保護のためのセーフガードを検討

出典：JPNIC

[gnso-rds-pdp-wg] WG Meeting Suspension

Chuck [consult at cgomes.com](mailto:consult@cgomes.com)

Tue Apr 3 23:11:48 UTC 2018

- Previous message: [\[gnso-rds-pdp-wg\] FW: \[gnso-secs\] FW: \[Gnso-next-gen-rds-lead\] FW: URGENT REQUEST - Community Input re Accreditation Model Draft](#)
- Next message: [\[gnso-rds-pdp-wg\] WG Meeting Suspension](#)
- Messages sorted by: [\[date \]](#) [\[thread \]](#) [\[subject \]](#) [\[author \]](#)

The RDS PDP WG leadership team has decided to suspend WG meetings until further notice while we await guidance from the Board regarding how this WG will be affected by the GDPR compliance efforts.

To avoid parallel efforts in the meantime, this mailing list will be used only to keep WG members updated. Watch for additional leadership team posts as guidance is received and next steps become clear.

Chuck

----- next part -----
 An HTML attachment was scrubbed...
 URL: <http://mm.icann.org/pipermail/gnso-rds-pdp-wg/attachments/20180403/0bf02d25/attachment.html>

- Previous message: [\[gnso-rds-pdp-wg\] FW: \[gnso-secs\] FW: \[Gnso-next-gen-rds-lead\] FW: URGENT REQUEST - Community Input re Accreditation Model Draft](#)
- Next message: [\[gnso-rds-pdp-wg\] WG Meeting Suspension](#)
- Messages sorted by: [\[date \]](#) [\[thread \]](#) [\[subject \]](#) [\[author \]](#)

出典： <https://mm.icann.org/pipermail/gnso-rds-pdp-wg/2018-April/005799.html>

これは「.co.uk」ドメインのWHOIS情報です。
gTLDのWHOISもこのような記載になるでしょう。

WHOIS RESULTS

Domain name:

████████.co.uk

Registrant:

Name withheld. This Registrant is using a privacy service.

Registrant's address:

Address withheld. This Registrant is using a privacy service.

Privacy service:

Domain Licenses Limited

Privacy service's address:

28-30 Little Russell Street, WC1A 2HN, London, UK

Data validation:

Nominet was able to match the registrant's name and address against a 3rd party data source on 23-Feb-2017

Registrar:

Nom-IQ Limited t/a Com Laude [Tag = NOMIQ]

URL: <http://www.comlaude.com>

WHOISの制限を歓迎するのは、企業ではなく
ドメインネームの侵害者くらいではないのでしょうか？



We provide our clients with intelligent consultancy on corporate domain management and key issues such as GDPR, securing commerce critical domains, rightsizing a portfolio etc.

Nick Wood

Managing Director

nick.wood@comlaude.com

28-30 Little Russell Street,

London,

WC1A 2HN

UK

村上嘉隆

代表取締役

yoshi.murakami@comlaude.com

東京都中央区新川1-3-21

T: 03 4578 9368

M: 080 4197 3095

www.comlaude.com